

令和5年度 西河原小学校 学校教育自己診断			11月実施		
	保護者実施結果	(11月30日最終結果) 単位(%)			集計結果に対して
	全児童199名 回答178名 回答率89.4%				
	アンケート項目	肯定的回答	否定的回答	わからない 判断できない	
1	学校は、教育目標や教育活動などを学校だよりや学校ホームページ等で適切に伝えている。	98.9	0.0	1.1	多くの肯定的回答をありがとうございます。学校教育への関心の高さに感謝しております。今年度の学校HPアクセス数は2万8千を超えています。教育活動とそのねらいを知っていただけるようHP更新を続けますので、引き続き閲覧をお願いいたします。
2	学校は、保護者や地域と、PTA活動や地域行事などで連携をとっている。	97.2	0.6	2.3	4年ぶりに西河原地区夏祭りも夏休みのプールも復活し、運動会も規制が解かれました。地区委員さんを中心に登下校が見守られ、広報誌も読みごたえがあり、文体活動の参加も多く、PTA活動によって学校教育を支えていただき、地域の教育力を高めていただいています。
3	学校は、家庭への連絡などを必要に応じて速やかに行っている。	96.1	1.1	2.8	今後も必要に応じた速やかな保護者への連絡を心がけます。何かお困りのこと等ありましたら遠慮なさらず学校へご連絡くださいますようお願いいたします。
4	学校は、めざす学校像「やさしさと笑顔があふれる学校～信頼される学校～」をめざして教育活動に取り組んでいる。(ランドデザインをご覧ください)	90.4	2.8	6.7	多くの肯定的回答をいただき、「めざす学校像」を保護者の方々と共に共有できていることに感謝しております。家庭・地域の信頼を保つよう引き続き「やさしさと笑顔あふれる学校づくり」を教職員一丸となって取り組んでいきます。
5	学校は、「ゆめ力・自分力」の育成をおこなっている。(ランドデザインをご覧ください)	81.0	8.3	10.7	学校は様々な学年行事や学校行事、他学年との交流学习、委員会活動などを通して児童に「やり切った」「人の役に立った」と達成感を得させ、自尊心、自己有用感をはぐくむことに力を入れています。
6	学校は、「学び力」の育成(基礎・基本の力 学ぶ意欲 国語力など)に取り組んでいる。(ランドデザインをご覧ください)	89.9	3.9	6.2	本校では長年、学力向上に重点をおき、わかる授業づくりや「書く力」を育てる授業研究をすすめています。この項目でも多くの肯定的回答をいただきました。ご理解とご協力に感謝しております。
7	学校は、「体力」の育成(体力 運動習慣)に取り組んでいる。(ランドデザインをご覧ください)	91.0	5.1	3.9	水泳や運動会、連合運動会に向けての指導は教職員が集団で指導を行ってきました。また、体育指導の校内研修会を実施し、指導技術の共有を図っています。夏季休業中の水泳指導も保護者の方々の協力のもと、12日間実施できました。引き続き体力向上の取組をすすめます。
8	学校は、学級活動、行事、委員会活動などで「つながり力」の育成をおこなっている。(ランドデザインをご覧ください)	93.8	2.2	3.9	今年度も「つながりづくり」に重点をおき、児童会活動等で縦割り活動(学習、清掃、遊び)など学年枠をはずした交流活動を定期的に実施しています。今年度は西河原小フェスタもコロナ禍前の規模で実施します。
9	学校は、算数習熟度別分割指導、専科教員、入り込みサポーター等で学力向上を図っている。	83.7	2.2	14.0	3年生～6年生は算数習熟度別指導担当と各担任が、算数教室と通常学級で少人数での授業をおこなっています。また、市より4名のスクールサポーターが配置されており、授業の入り込み支援をしています。
10	学校は「わかる」「できる」と意欲をもてる授業や行事をおこなっている。	86.4	5.1	8.5	授業は「めあて」「自分で考える」「ペアやグループで考える」「まとめ」「ふりかえり」の45分間の流れで、めあてをもって学び、わかった、できた、と振り返ることを大切にしています。
11	学校は「一人一台タブレット」の指導や授業での活用を行っている。	85.9	9.0	5.1	今年度も昨年度に引き続き、校内研修会を複数回実施し、ICT活用の授業づくりの研究をすすめています。
12	学校は、人権教育(違いを認め合い、共に学び、共に育ち、つながる力を育てる)をおこなっている。	85.9	2.8	11.3	一人ひとりの持ち味を互いに大切にできるよう、道徳や総合的な学習の時間で人権学習に取り組んでいます。人権意識、人権感覚など、人権教育に関してもご家庭のご理解が欠かせません。ご協力ありがとうございます。
13	学校は一人ひとりの違いを認めあうクラスづくりをおこなっている。	83.7	6.7	9.6	前項目とも重なりますが、だれもがその個性を大切にされ、互いを大切にしあう学級づくりを進めています。自分を大切にする、ともだちを大切にするということに関しても、日ごろからの保護者の方のお声かけに感謝しています。
14	学校は、トラブルの早期対応やいじめの早期発見、いじめが起きないような取組をおこなっている。	71.8	6.2	22.0	学校は学期ごとの生活アンケートや担任と児童の1対1面談で、いじめの早期発見・早期解決に努めています。また、教職員は日頃より児童に声かけをし、困ったときにはなんでも相談できるよう関係づくりに努めています。
15	学校は、SNS、ネットトラブル防止の取組をおこなっている。	86.5	5.1	8.4	先日ミマモルメでお知らせさせていただきましたが、保護者の方々にはネットトラブル予防のご協力をいただいています。また、大阪府警察本部にネットトラブル防止の出前授業をしていただきました。加害者にも被害者にもならないように引き続きネットトラブル予防の授業等を行います。ご家庭でもやり取りの内容確認等を引き続きよろしくお願いします。
16	学校は、学校でのルールを守るなど、社会のルールを守る態度、規範意識を育てている。	92.1	3.4	4.5	ルールが設定されている理由を理解させてルール徹底を図っています。保護者のご協力も厚く、児童の学校でのルールを守ろうとする意識は校内トラブルを未然に防いでいます。
17	学校は児童会・委員会活動、学校行事などで自己有用感(人の役に立てると思う心)を育てている。	84.8	4.5	10.7	児童会や委員会活動は小規模校ならではの、一人ひとりの分担する役割が多く、活躍の機会が多いです。また、おもちゃ祭りなど他学年との交流学习は自己有用感を高めることも目的として実施しています。
18	お子さんは「学校は楽しい」「学校に行きたい」等と言っている。	82.5	14.1	3.4	学校に行きたくない、と感じている児童一人ひとりの心の内等、理由を保護者とも連携しながらつかみ、それぞれの個に応じた対応をすすめていきます。行き渋りが見られた時は学校にすぐにご相談ください。
19	お子さんには夢や希望がある。	78.1	15.2	6.7	職業に限定せず、どのような大人になりたいかとイメージする機会をつくることは大事です。また、夢中になれるような好きなことを存分にさせることも大事です。学校は教科学習に限らず、出前授業や校外学習などで児童の視野を広げさせていきたいと考えます。
20	お子さんには自己肯定感(自分のことが好き、自分はやればできると思う)がある。	77.4	15.8	6.8	4月当初から自己肯定感を高めることについて学校だよりに記載させていただいています。自分に自信がもてるよう、努力していることを声に出してみとめる、ちょっとした成功もその都度ほめることで自信を高めさせていきましょう。
21	お子さんは自己有用感(人の役に立ちたいと思う、人のために動こうとする気持ち)がある。	87.6	10.2	2.3	集団登校の班長・副班長で人の役に立つことを意識させてくださっている等、自己有用感を高める活動に地域・家庭・PTAのサポートをいただき感謝しております。学校では低学年に対して役に立つ自分を感じさせる学年交流活動を年間を通して行っています。
22	お子さんは自ら考えて行動しようとしている。	77.0	20.8	2.2	教育活動において「自分で考えて判断して行動すること」という主体性をもたせることを重視しております。学校としても従前より課題と捉えています。この力を伸ばすために継続した取組を進めたいと思います。
23	お子さんは学習に取り組み、学力が向上している。	80.8	15.8	3.4	宿題や家庭学習がんばり週間等で、児童の学習状況を保護者の方々に把握していただいていることに、感謝しております。国語に限らず教科書を音読させることで学習の理解度をご家庭でも把握していただけます。学校においても学力保障、学力向上の取組に努めます。
24	お子さんは運動するなどし、体力が向上している。	77.5	21.3	1.1	体力向上、運動習慣づくりは将来にわたる健康維持に重要です。運動場で外遊びをする児童は増えていますが、運動が好きな児童を増やすことが課題です。3学期にかけて、なわとびや持久走などに学校全体で取組みます。
25	お子さんは周りの人に「おはよう」等、あいさつができる。	83.7	14.6	1.7	朝の登校時、受付員さんや地域の見守り隊の方々に声を出してのあいさつができる児童が増えてきました。あいさつは人間関係づくりに最も大切ですので、ご家庭でも相手に伝わる声であいさつをするようにと日々の声かけをお願いします。
26	お子さんは、周りの人に説明したり考えや思いを言葉で伝えたりすることができる。	72.3	24.3	3.4	学校も言語によるコミュニケーション力は児童の課題ととらえており、国語力向上の授業改善研究を10年以上継続していますが、引き続き国語力向上、言語力向上の研究を進めていきます。
27	お子さんは、クラスのともだちと仲良くすごしている。	92.7	2.8	4.5	5学年が6年間のクラス替えがない小規模校です。仲の良いクラス集団づくりは何よりも重要です。教職員もクラス集団の仲の良さに目を細めることが多いですが、保護者の方々にも友だち同士の関係性の良さを感じ取っていただいているようで、感謝しております。
28	お子さんは、先生に話したいことを話したり、相談したりできる。	79.2	11.8	9.0	教職員は積極的に児童に声をかけ、困ったことや相談したいことを話しやすい関係づくりを心がけています。担任に限らず、専科指導担当や養護教諭、介助員、スクールサポーター、スクールカウンセラーなど様々な教職員がおり、どの職員も児童が周りの大人に話しやすい関係づくりに努めています。
29	将来の社会を担う子の育成のためにもお子さんを地域行事に参加させようとしている。	78.7	13.5	7.9	文部科学省の小学校学習指導要領においても地域社会の一員としての自覚を養うことは重要とされています。私たち皆、地域社会の担い手であることを意識し、機会をとらえて地域行事への積極的な親子での参加等をお願いします。
30	警報発令時や地震などの緊急時の対応(登校見合わせ等)について、児童保護者が互いにわかっている。	82.6	12.9	4.5	1月14日本校で茨木市のモデルとして危機管理課や他地域と連携した避難所開設運営訓練が実施されます。西河原地区自主防災会が中心となり避難場所としての備えは進められています。学校でも防災教育をしていますが、各家庭でも災害への備えをしていただきますようお願いします。